

## § 専門批評 §

生徒氏名     〇〇 〇〇    

課題名     基礎心理学問題集 第 1 回    

### 《概評》

*基礎力	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D
*習得力	<input type="checkbox"/> A	<input checked="" type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D
*考察力	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D
*表現力	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D

### 《総合評価》

A       B       C       D

《講評》 **よく出来ています。**      40/50=80%      論述も。

詳しくは本文中の赤を参照すると共に、解答例をご覧ください。

始めたばかりの時期は、始終不馴れな感じがするものです。新しい集団に加わって、出会う人の顔をなかなか覚えられない時期があるのと同じですね。気にならなくなる時期がそのうちきます。テキストや教科書は、何度も読むものですから、通して読むとき、1 ラウンド目ではあまり頭に残らなくて当然です。3 回目を読み終わるとき、自分なりに馴れてきたと気づくと思います。

人名では、臨床の方がまだ十分ではありません。臨床心理学の 12 回シリーズには必ず出てきます。楽しみです。勉強するなら知っていて当然の人名です。マラーとかカーンバーグとか。

ミルトン・エリクソンは、医師で、ブリーフ・セラピーに影響を与え、催眠療法でも有名な人。ピオンは、コンテイナーという概念で有名な精神分析家。カプラン、またはキャプランは、危機介入とか、地域保健の 1 次から 3 次予防の概念で有名、通信では「臨床心理学」のシリーズで出てきます。ベイトソンも、家族療法では有名な人ですよ。

論述は要点をよくまとめています。ただ、量的データ、質的データというのは、要するになにかをはっきり言葉にすべきです。数量で測定した量的（数値）データを対象にするのが量的研究、言葉で表現された質的（意味）データを対象にするのが質的研究。

第

1

回

氏名

〇〇 〇〇

40/50=80%

直接、文字入力してください

NO.	回 答	NO.	回 答
1	量的	26	クライン
2	質的	27	ウィニコット
3	独立	28	ラカン
4	従属	29	スピッツ
5	内観法	30	? × マーラー
6	ロック	31	? × カーンバーグ
7	? × ウェーバー	32	パールズ
8	ヴァト	33	ジェンドリン
9	エビングハウス	34	アクスライン
10	ジェームズ	35	ベック
11	ソーンダイク	36	シュルツ
12	S.フロイト	37	ウォルピ
13	古典的 (レスポンド)	38	エリス
14	ヴェルトハイマー	39	ラザラス
15	ワトソン	40	? × ベイトソン
16	ケーラー	41	? × ミルトン・エリクソン
17	道具的 (オペラント)	42	モレノ
18	ロジャース	43	? × ビオン
19	ピアジェ	44	レヴィン
20	ユング	45	? × カプラン×
21	ローエンフェルド× カルフ	46	森田性馬
22	A.フロイト	47	吉村邦言
23	ボウルビイ	48	河合隼雄
24	エリクソン	49	? × 中井久夫
25	サリヴァン	50	? × 成瀬悟策

## 第一回 論述問題

- 1) ヴントの内観法は被験者に外的刺激を与えることによって生じる意識的経験について報告(内観報告)を求めるという方法を取る。  
しかし被験者は訓練を受け内観に熟練した選ばれた人々であり、また実験の適用範囲を外的刺激の統制しやすい感覚、知覚および感情の一部に限定した為、限られた対象についての心理学となった。 →よく説明できています。
- 2) 量的研究法は対象者の特徴を数値化し測定した量的データを用いて、母集団から無作為に抽出した標本の傾向を、確率論的な統計的仮説検定によって一般化し、共通性、法則性を検証しようとする。
- 3) 質的研究法は主観的体験世界をインタビューと関与観察などによって記述したデータ(質的データ)を分析しながら、現象の理解を深め、概念化や仮説を生成する。

2) 3) も、本質的な特徴を短い言葉でまとめられています。

## 質問

人名には名字のイニシャルが必要でしょうか？またフルネームで覚えたほうがよいのでしょうか？ **有名な人** **たとえばフロイト** **のスペルは知っていたほうがよい。覚えられなくても、スペルは見ておくのは当然のことです。**  
**英語で書かれていたら、わからないと困るでしょう。**

論述問題の量的研究法、質的研究法については問題集のまる写しになってしまいました。

空欄にしてしまった問題も含めて、どのような書籍を読んでおけばよいか教えて頂けますでしょうか。

よろしく願い致します。

**一番力がつく人はあれこれどんどん読むひとです。**

はじめは、教科書的な本から入るが、興味があれば、藤山直樹 精神分析講義などや、成田善弘 精神療法の第一歩 河合隼雄（沢山あります、特にどれでもいいですが）などどんどん読むことです。家族心理学などのテキストも見ていけばよいと思います。

もうひとつは 事典類です。

培風館、心理臨床大事典 30000円もしますが、専門家になろうと思うなら、持っていて当然です。思い切って買おうと、フルに役立ちます。

また量的研究法、質的研究法という本が、東大出版から出ています。

練習テスト( I ) 正解		専門科目(基礎心理学)	
大学院臨床心理コース		第1回	
(得点)		研究法関連と心理学史	
1 量的 ( Quantitative )	26 メラニー・クライン( または クライン Klein,Melanie 1882-1960)		
2 質的 ( Qualitative )	27 ウィニコット( Winnicott 英 1886-1971)		
3 独立 ( Independent )	28 ラカン ( Lacan 1901-81 )		
4 従属 ( Dependent )	29 スピッツ ( Spitz 1887-1974 )		
5 内観(または 内観法) (introspection)	30 マーラー ( Mahler 1887-1985 )		
6 J・ロック( または ロック John Rock 英 1632-1704)	31 カーンバーグ ( Kernberg 1967 )		
7 ウェーバー ( Weber 1795-1878 )	32 パールズ ( Pearls 1893-1970 )		
8 ヴント ( Wundt 1832-1920 )	33 ジェンドリン ( Gendlin 1926- )		
9 エビングハウス ( Ebbinghaus 1850-1909 )	34 アクスライン ( Axline 1911- )		
10 W・ジェームズ(または ジェームズ James 1842-1910)	35 ベック (または アーロン・ベック Beck 1921- )		
11 ソーンダイク ( Thorndike 1874-1949 )	36 シュルツ ( Schultz 1884-1970 )		
12 フロイト (Freud,Sigmund 1856-1939)	37 ウォルピ ( Wolpe 1915-97 )		
13 古典的(またはレスポナントclassical,respondent)	38 エリス ( Ellis 1913- )		
14 ウェルトハイマー( Wertheimer, Max 1880-1943)	39 ラザラス ( Lazarus,Richard 1922- )		
15 ワトソン ( Watson 1878-1958 )	40 ベイトソン ( Bateson ) 1972「精神の生態学」		
16 ケーラー (Kohler, 1887-1967 )	41 ミルトン・エリクソン(Erickson,M. 1901-80 )		
17 オペラント(または 道具的 operant conditioning)	42 モレノ (Moreno ルーマニア生ユダヤ人米国移住 1892-1974)		
18 カール・ロジャーズ(または ロジャーズRogers1902-1987)	43 ビオン ( Bion 英 )		
19 ピアジェ ( Piaget (スイス) 1896-1980 )	44 レヴィン(またはクルト・レヴィン Lewin 1890-1947)		
20 カール・ユング(または ユング Jung, Carl 1875-1961)	45 キャプラン(または カプラン Caplan)		
21 カルフ ( Kalff )	46 森田 正馬(もりた まさたけ) 1874-1938		
22 アンナ・フロイト (Freud,Anna 1895-1982)	47 吉本 伊信(よしもと いしん) 1916-88		
23 ボウルビィ ( Bowlby 1907-1970)	48 河合 隼雄(かわい はやお) 1928-		
24 エリクソン(またはErikson, Erick.,H. 1902-94)	49 中井 久夫(なかい ひさお)		
25 サリヴァン(または サリバン Sullivan, Harry 1892-1949)	50 成瀬 悟策(なるせ ごさく)		

## 第1回 論述問題の正答例

- 1) ヴントの内観法とはどのような方法か、批判的な視点も加えて、説明しなさい。  
(250字以内)

内観法とは、ヴントの心理学実験場面においてあらかじめ訓練された被験者に人間の意識経験の過程を直接報告させデータをとる研究法で、心理学の唯一の科学的方法として提唱されティチェナーの構成主義心理学の方法として継承された。意識の究極の単位としての感覚要素を抽出すれば意識を構成できるという要素主義の考え方に立っており、ゲシュタルト心理学から批判され、客観性については行動主義から批判されている。また訓練された被験者を対象とするという方法にも限界があるとされている。

- 2) 量的研究法の意味と、研究に果たす役割について述べなさい。250字

心理学において量的研究法とは、尺度の得点や現象の度数など、数量で表されるデータを扱う研究法である。実験・観察・調査において収集される量的データは、統計的方法を用いて分析され、具体的に検証すべき理論と仮説がある場合には統計的仮説検定が用いられる。量的研究法は仮説検証型の研究に適しているが、仮説生成にも用いられる。事例研究などの質的研究から生成された理論を、多数の対象者を用いて検証するとき用いられる。問題点には、取り上げた側面以外の、個性的な側面が切り捨てられやすいことがある。

- 3) 質的研究法の意味と、研究に果たす役割について述べなさい。250字

心理学において質的研究法とは、量的データ以外のデータ、つまり個人の語り(言葉)やふるまいの記述・録音という質的データをもとに、個人の体験過程で主観に表れてくる意味の生成を理解しようとする研究法である。研究者と対象者の相互作用も質的分析の対象になる。質的研究は、フロイトの事例研究もその例のひとつであるが、質的データに即した・概念の検討・仮説生成・モデル生成に適している。面接聴取の他、グラウンデッド・セオリー、ディスコース分析、会話分析、KJ法などの分析方法もある。